



SAP Ariba 

機能の概要

請求書例外の種類で異議申し立てを制限

Johan Holm (ソリューションマネージャ)、SAP Ariba
一般提供予定: 2020 年 2 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: 請求書例外の種類で異議申し立てを制限

今までの課題

現在は、請求書例外に異議を申し立てるのを制限する機能は、すべての例外の種類に対して定義されます。つまり、お客様は、一部の例外の異議申し立てを許可する一方でその他の例外の異議申し立ては許可しないということできません。一方で、請求書例外を承認する機能には、このような詳細なレベルが提供されていません。

対象ソリューション

SAP Ariba Buying and Invoicing
SAP Ariba Invoice Management

SAP Ariba で問題解決

この機能を使用すると、管理者はユーザーが特定の請求書例外に異議を申し立てることを制限することができます。これまでは、ユーザーが例外に異議を申し立てられるようにするか、ユーザーが例外にまったく異議を申し立てられないようにするかのをいずれかを設定することができました。これからは、管理者はユーザーが一部の例外に異議を申し立てることを禁止する一方で、その他の例外には異議を申し立てることを許可することができます。

管理者は、ユーザーが異議を申し立てられる例外と異議を申し立てられない例外を選択することができます。ユーザーが例外に異議を申し立てられないようにするには、請求書例外の種類「請求書の異議申し立てを防止する」フィールドを「はい」に設定します。ユーザーが例外に異議を申し立てられるようにするには、「請求書の異議申し立てを防止する」フィールドを「いいえ」に設定します。

関連情報

この機能を有効にするには、貴社の指定のサポート担当 (DSC) に連絡してサービスリクエスト (SR) を提出してください。

導入の難易度
対象エリア

やや複雑
グローバル

主なメリット

この機能により、異議を申し立てられる請求書例外をより詳細に定義できるようになります。

前提条件と制限事項

なし